

公表

## 事業所における自己評価総括表

○事業所名	スプリング (シンフォニー)		
○保護者評価実施期間	2026年 2月 1日		2026年 3月 1日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	30名	(回答者数) 26名
○従業者評価実施期間	2026年 2月 25日		2026年 3月 4日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	4名	(回答者数) 4名
○事業者向け自己評価表作成日	2026年 3月 10日		

## ○ 分析結果

	事業所の強み(※) だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	ひとりひとりに合わせた発達支援： 集団の活動を行いながらも、個別の発達段階や子どもの気持ちにに合わせて関わっています。また、クッキングや制作、サッカーなど様々な活動を通して子どもたちひとりひとりの気持ちに寄り添って話を聞く時間を大切にしています。	活動では場面の構造化を行い、絵カードなども取り入れながら視覚的にわかりやすく行っています。また、個別にお話をする時間を一人一人に作っています。	お話を聞く場面では言葉で表現できない子どもたちの思いもくみ取れるように更なる工夫をしていきます。
2	家族支援、学校、関係機関との連携： グループカウンセリングや毎月の個別面談を行い、保護者の困り感や育児の不安へのアドバイスをしています。また、同じ法人にショートステイやホームヘルパーもあり、実質的な家族支援も行っています。	グループカウンセリングや個別のカウンセリングに参加が難しいお母さんには個別の面談をおこなったりペアトレを行ったりしています。 また、法人内の他部署とも連携会議をひらいたり、学校や関係機関との連携も小まめに行っています。	引き続き、保護者同士の繋がりづくりを大切にしていきたいです。また、本人だけでなくきょうだい支援にもつなげていけるように、きょうだいも参加できる行事なども計画していきます。
3	研修体制による専門性： 職員の年代や職種に合わせた専門研修のカリキュラムを組んでいます。また、毎週のグループSVや個別SVを行う事で、職員同士が連携して支援をしています。	法人全体で、年間の研修のカリキュラムをたてて、実行しています。また、支援の専門性を身に着ける為のコンサルテーションも行い、人材育成に力を入れています。	更に、ひとりひとりが学んだ事を言語化して、周りの人にも広げていくことができるように実行していきます。

	事業所の弱み(※) だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	地域の子もたちとの交流が少ない： 地域の公園や公共の場では地域の子もたちと一緒に活動する事もありますが、事業所に招いたり、地域の行事に参加する等は行っていない為、地域の子もたちとの交流は少ないです、	感染症の流行等があり、なかなか地域での交流に積極的になれない面があります。	引き続き、地域の公園等では、地域の子もたちとの関わりも大切にしています。
2	HPなどで活動を公表していますが、保護者に周知をしていない事が多いので、活動など幅広く知っていただく為にもおたよりなどで周知していきます。		おたよりなどでHPのURLやQRコードでお知らせして、保護者にもHPに広く知って頂ければと思います。
3			